

Creating Shared Futures

未来をつくる仲間と出会う



広島県公立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA



令和8年度大学入学者選抜・
教務関係事項連絡協議会



叡啓大学の個別選抜についてのご紹介

叡啓大学「総合型選抜（春入学）」

ここがポイント

- ・探究型学習・活動に能動的に取り組んだ経験をグループディスカッション等を通じて丁寧に評価
- ・高大接続プログラムの提供や入学後のPBL必修化を通して高大接続を実現

選抜区分
Ⅰ

高校との連携を
はじめとする
高大接続改革の
推進

令和6年度入学者選抜概要

テーマに基づくグループディスカッションと、出願書類及びグループディスカッションの内容に基づく個人面接により、志願者の資質・能力・意欲を多面的・総合的に評価。

入試方法：総合型選抜

対象学部：ソーシャルシステムデザイン学部

募集人員：50名（春入学全体の62.5%）

入学者数：49名（志願倍率1.5倍）

選抜方法：

第一次選考（書類選考）

第二次選考（グループディスカッション・面接）

ソーシャルシステムデザイン学部アドミッション・ポリシー（抜粋）

求める学生像

- ・国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者
- ・将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者
- ・高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者

選抜の理念、背景にある問題意識

- 本学が目指す「多様な価値観をもった学生同士が学び合う」キャンパスの実現には、従来の教科・科目試験だけでなく多様な観点で、入学者選抜を実施することが必要。
- このため、書類審査に加え、小論文や面接、グループディスカッションなどを通じて、知識の量だけでなく、「思考力」や「表現力」、「他者と協働する姿勢」など受験生の資質・能力・意欲を丁寧に評価。
- 課外活動または個人で探究型プロジェクトに参加して行った活動や、高校の「総合的な探究の時間」における活動など、探究型学習や探究活動に意欲や熱意を持って能動的に取り組んだ経験などについても高く評価。

導入過程

- 入試制度設計の過程において、高校教員や企業・自治体関係者と意見交換を実施し、これからの社会で重要となる資質・能力・意欲への理解を深めた。
- 学習指導要領の目的や、高等学校で実施されている取組、高校生の学びを、入試を通してどのように評価する（接続する）か、などについて議論し、選抜制度や評価方法に反映。
- 入学後に課題解決演習（PBL）を必修とし、国内外での体験・実践プログラム、卒業プロジェクトなど、探究を一つの軸とする学びをカリキュラムに導入。

成果検証・課題

- 自分なりの問題意識や学びの目的を持ち、社会への問題意識をもった入学者が多く、意欲的で主体的に行動する傾向があり、他者の意見を尊重しながら自身の考えを深めていく姿勢も顕著。
- 入学定員の50%を総合型選抜で募集しており、受験生の負担に配慮しながら、評価の公平性と納得感を高める工夫を重ね、継続的に入試の検証と改善を実施。
- 県教委等と連携して実施している高大接続プログラムは、多くの参加者を得ている。少人数でのグループワークが中心であるため、プログラムごとの受講者数を制限せざるを得ない場合があることが課題。

叡啓大学「総合型選抜（春入学）」

- ・探究型学習・活動に能動的に取り組んだ経験をグループディスカッション等を通じて丁寧に評価
- ・高大接続プログラムの提供や入学後のPBL必修化を通して高大接続を実現

選抜区分
Ⅰ

高校との連携を
はじめとする
高大接続改革の
推進

本選抜の特徴を教えてください。

叡啓大学の総合型選抜は、「どれだけ知っているか」よりも「どう考え、どう行動するか」を重視する入試です。受験生一人ひとりの個性や意欲、探究心、多様な経験を尊重し、総合的に評価するため、書類審査に加え、小論文や面接、グループディスカッションなどを通じて、知識の量だけでなく、「思考力」や「表現力」、「他者と協働する姿勢」などを丁寧に見させていただいています。

自ら学び、考え、行動する力を育ててきた方にこそ挑戦していただきたい選抜方式です。

本選抜を創設しようと思ったきっかけや設計において苦労した点、その克服方法について教えてください。

本学では、「多様な価値観をもった学生同士が学び合う」ことを大切にしています。その実現には、学力検査だけでは測れない受験生の個性や意欲、探究心を把握できる選抜方法が必要と考え、総合型選抜の導入を決めました。

また、入学定員の50%を総合型選抜で募集し、受験生の負担に配慮しながら、評価の公平性と納得感を高める工夫を重ね、継続的に入試の検証と改善を行っています。

本選抜を受験して入学した学生の特徴や入学後の学びの姿勢について教えてください。

総合型選抜で入学した学生には、自分なりの問題意識や学びの目的を持ち、社会への問題意識をもって本学に入学してきた方が多く見られます。そうした学生は、学びに対して非常に意欲的で、授業内外において積極的に発言・発信し、主体的に行動する傾向があります。

また、他者の意見を尊重しながら自身の考えを深めていく姿勢も顕著であり、本学が重視する探究的な学びにおいて中心的な役割を担うとともに、総合型選抜を実施する目的に挙げた「多様な価値観をもった学生同士が学び合う姿」を実現してくれています。

今後、新たな選抜を制度設計する担当教職員に向けたアドバイスをお願いします。

「どのような学生に入学してほしいか」について、学長や学部長、学科長などを含めた教職員全員で徹底的に意見を交わし、目線を合わせることがとても重要だと考えます。



- 川瀬 真紀 -

ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科 学科長・教授/
課題解決演習総括/コンピテンシー・ディベ
ロップメントセンターセンター長/キャリア
デザインオフィスオフィスディレクター



学生インタビュー

受験を通して「なぜ学びたいのか」と真剣に向き合った経験が、大学での学びの土台になっています。



また、受験で培った「自分の想いを言葉にする力」や、「言葉を丁寧に使うこと」「本気で考えること」の姿勢は、今の授業や活動にも大いに役立っています。

- 久保 允治 -

ソーシャルシステムデザイン学部

ソーシャルシステムデザイン学科/2年



委員コメント

- 志望理由書や活動報告書の提出により、高校での学びの振り返りを大学での学びへの意欲につなげている。また、小論文やグループディスカッションにより社会課題への意識を高めることで入学後の学びへの接続をスムーズにしている。
- 高校の「総合的な探究の時間」におけるワークショップの開催や学生・教職員による高校生のマイプロジェクトの伴走・壁打ちのサポート、高校生対象のアイデアコンテスト開催など、充実した高大接続プログラムを用意し、丁寧なサポート体制を構築している点が評価できる。

2027(令和9)年度入学者選抜の概要



広島県公立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

			主な提出書類						選抜方法
			志望理由書	活動報告書	調査書 または 成績証明書	小論文	推薦書	履歴書	
春入学	総合型選抜 (専願枠) 【20名】		○	○	○	-			【第一次選考】 原則実施しない ※志願倍率2.0倍以上で、実施する場合あり 【第二次選考】 面接 グループディスカッション
	総合型選抜(併願枠)／ 留学生選抜(春入学) 【30名】		○	○	○	○	留 ○		【第一次選考】 書類選考 【第二次選考】 面接 グループディスカッション
	学校推薦型選抜 【15名】 ※広島県内のみ		○		○		○		【第一次選考】 原則実施しない ※志願倍率2.0倍以上で、実施する場合あり。 【第二次選考(対面)】 面接 グループディスカッション
	一般選抜 【15名】		○		○				【第一次選考】 書類選考 大学入学共通テスト 【第二次選考】 面接
秋入学	留学生選抜 総合型選抜 【30名】	最大3回	○	○	○	○	○	○	【第一次選考】 書類選考 【第二次選考】 面接



叡啓大学の教育(コンピテンシーの育成)

社会を変える5つの力。叡啓大学が育むコンピテンシー

グローバルな協働力、本質を見抜く先見性、戦略的な設計力、粘り強い実行力、そして学び続ける自己研鑽力。

叡啓大学では、社会の課題解決を担う人材に不可欠な5つの力を育てます。



Become a person who can imagine and create the future
with the five competencies needed to create new value for society

ソーシャルシステムデザイン学部 Department of Social System Design

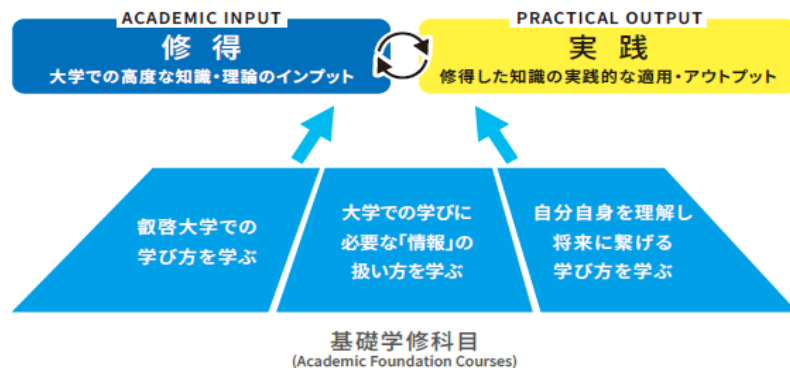
叡啓大学の取り組み(独自のカリキュラムとグローバルな教育)

知識・スキルの「修得」と「実践」で 構成するカリキュラム体系

本学の教育課程は、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に定めるコンピテンシー(資質・能力)の育成を目的としています。大学での学びの基礎を形成する「基礎学修科目」から始まり、「リベラルアーツ科目」「基本ツール科目」「実践英語」によって知識・スキルの「修得」を回るとともに、「課題解決演習」「体験・実践プログラム」を通じて、知識・スキルを「実践」へと発展させ、「修得」と「実践」のサイクルを何度も繰り返し、学生は成長を目指します。学生一人ひとりの課題意識や学修状況に応じて体系的に履修することで、学士力を培うカリキュラム体系とします。



3つのポリシーについて、
詳しくはこちらから



英語のシャワーに触れる日常で「グローバル」な人材に

コミュニケーション力を駆使して異なる文化・価値観などを有する人と協働し、グローバルに活躍できる力を養うため、実践的な英語を学修します。また、海外から積極的に留学生を受け入れ、キャンパスのグローバル化を推進しています。

1 英語集中プログラム
1年間

英語で授業を受けられるレベルに達するよう、1年間をかけて「Intensive English Program (英語集中プログラム)」を実施します。少数人数にクラスを編成し、英語での科目履修に必要な総合的な英語力を鍛えます。また、正課と連動したTOEFL対策コースを開講し、スコアアップにつなげます。

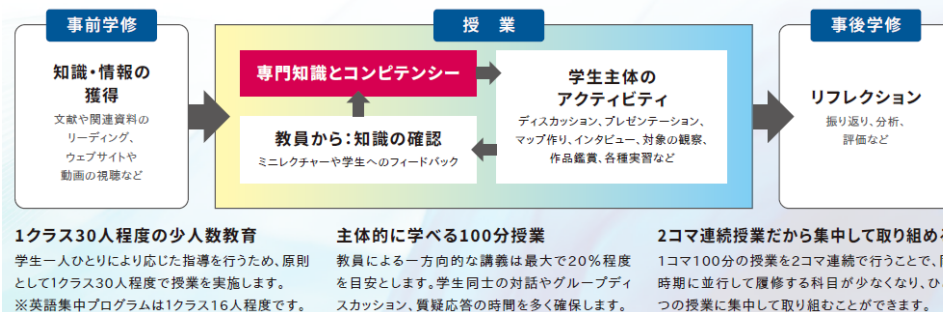
2 英語での単位修得
62単位以上

卒業に必要な124単位のうち、62単位以上は英語で単位を修得することが要件となります。一部の科目(留学生を対象とした日本語の授業)を除き、同一科目を英語と日本語両方で開講するため、すべての科目を英語により履修卒業することが可能です。

3 留学生
4人に1人以上

1学年100人のうちの30人程度の留学生に加え、交換留学などにより滞在する海外大学の学生を含めると4人に1人以上は外国人学生となるよう、キャンパスのグローバル化を推進しています。様々な文化的背景や価値観を持つ留学生と日頃から英語でコミュニケーションを取ることで、多様性を尊重する国際感覚を身につけます。

アクティブ・ラーニング すべての科目と授業で学生参加を促す授業スタイル





求める学生像（アドミッションポリシー）

- 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係に強い関心と探究心があり、他者と積極的にコミュニケーションを行いながら学ぶ意欲がある者
- 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組み、自らの能力の向上を目指す者
- 高校までの学習で基本的な学力を身に付け、幅広い視野を持って自ら先頭に立ち他者を巻き込んで様々な課題に取り組み、社会に貢献しようと考えている者

入学者定員：110名 / 1学年

入学時期	選抜区分		募集人員
春入学(4月入学)	総合型選抜	専願枠	20名
		併願枠(※1)	30名
	学校推薦型選抜		15名
	一般選抜		15名
秋入学(9月入学)	留学生選抜 (※2)		30名

総合型選抜に重点

第1次選考

志望理由書、活動報告書、
調査書や小論文等による書類選考

第2次選考

グループディスカッションや面接
による選抜

高等学校等までの教育課程で
習得した知識・技能と併せて、
コミュニケーションや探究活動、
学びや課外活動に対する姿勢
などを多面的・総合的に評価

(※1) 留学生選抜(春入学)を含む。 (※2) 総合型選抜(秋入学)を含む。



叡啓大学の入試の特徴

春入学（4月入学）

- ・ 総合型選抜を重視（専願枠と併願枠を設定）
- ・ 学校推薦型選抜は広島県内の高校からのみ出願可能
- ・ 一般選抜は独自日程で実施
- ・ 学校推薦型選抜以外はオンラインで試験を実施

筆記試験を行わず（大学入学共通テストを除く）、グループディスカッションや面接等によって、受験生ひとりひとりの資質・能力を多面的・総合的に評価する入試を実施。

秋入学（10月入学）

世界の幅広い国・地域から、学生を受け入れ

出願要件として、英語力の証明が必要

春入学：CEFR B1（英検 2 級）相当以上

秋入学：CEFR B2（英検準 1 級）相当以上

グループディスカッション



「正解のない問い」をテーマに、受験生だけでディスカッションを行う。

事前課題を課し、
参考文献や資料を確認、
テーマに対する知識や理解、
自分の意見等をまとめた上で、
試験当日、受験生同士で
ディスカッションを実施。



他者と建設的なコミュニケーションが
できていることや、テーマを理解する
ための知識や思考力、表現力、
答えのない問題に粘り強く向き合う
姿勢など、総合的な力が必要

近年の社会課題等に焦点をあてたテーマ設定

過去のテーマ①

「ポストSDGs国際目標」

【概要】

現在のSDGsとその達成状況、
近年の世界情勢等を踏まえて、
2030年以降も「ポストSDGs国
際目標」として取り組むべき
世界的な課題を検討させ、具体
のゴール（目標）とターゲット
（指標）を2つ提案させる。

過去のテーマ②

「日本国産米の適正価格」

【概要】

2024年後半から2025年につ
て起こった「令和の米騒動」を
きっかけに、生産者や消費者な
ど様々な視点からの意見や状況
を踏まえた上で、日本における
日本国産米の適正価格を検討さ
せ、平均販売価格を示させる。

過去のテーマ③

「小学校の学年暦」

【概要】

学校の学年暦等に対しては、
近年の社会・自然環境の変化に
より、夏休み期間等が必ずしも
最適ではない、といった意見も
増えており、様々な立場の視点
等を踏まえて、これからの学年
暦をどのように設定すると良い
と考えるか提案させる。

アドミッション・ポリシーにそった評価観点ごとに基準を定めて評価

評価観点	評価基準	アドミッション・ポリシー
姿勢・視野	「グループディスカッションの進め方」をふまえて取り組んでいるか。 - テーマを適切に理解し、特定の視点に捉われることなく様々な面からテーマについて自ら考えて、調査、検討し、より良いグループディスカッションとするための事前課題等の準備ができているか。 - グループ内で出された異なる視点や情報を取り入れて、より良い案を生み出す姿勢が見られるか。	- 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢 - 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢
コミュニケーション	- グループで決めた役割を適切に担っているか。役割に応じた貢献をしているか。 - 異なる考えや価値観に理解を示し、他者と積極的にコミュニケーションを行っているか。 - 他者の話をよく聴いて、議論を円滑に進めようとしているか。	他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢
その他	- 事前課題や自らの意見、考えについて、見せ方や表現方法を工夫したり背景や根拠となる情報などを適切に伝えたりするなど、他の人にわかりやすく伝えることができているか。 - グループディスカッションの発言の中で知識や思考力があると感じられるか。 - 将来大きく伸びる可能性や伸びしろを持っていることを、強く感じさせるか。または、上記の評価観点・基準以外で特筆すべき良い点があるか。	—

各評価基準については、
毎年前年度までの入学者選抜を
踏まえて、見直しを実施

受験生に対しては、
試験の個人面接の中で、
グループディスカッションの
振り返りや自己評価等も確認

入学後の学生の様子・学びの姿勢



広島県立大学法人

叡啓大学
EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

卒業プロジェクトでの発表

【研究テーマ】平日日中の「おでかけサイト」構想の提案



「HIROSHIMA Next Venture Excellence Award」受賞



「不登校への理解」のイベント講師（メディア掲載）



入学後の学生の様子・学びの姿勢

卒業プロジェクト

【研究テーマ】ネパールの視覚障がい児教育の課題と支援策

模擬国連（授業）



ネパールでのフィールドワーク



2026年度入学者選抜状況（春入学）

選抜区分	募集人員 (A)	志願者数 (B)	志願倍率 (B/A)	合格者数 (C)	合格倍率 (B/C)	入学者数
総合型選抜 (専願枠)	20	81	4.1	22	3.7	22
総合型選抜 (併願枠)	30	81	3.1	38	2.2	24
留学生選抜 (春入学)		11		4		3
学校推薦型選 抜	15	33	2.2	18	1.8	18
一般選抜	15	36	2.4	25	1.4	17
計	80	242	3.0	107	2.3	84



広島県公立大学法人

叡啓大学

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA